



一般社団法人 日本生理学会

【生理学とは】

生命（いのち）の理（ことわり）、すなわちヒトが生命を繋ぎ営むしくみを機能の面から解き明かす学問領域です。身体を構成する臓器の働きやそれらの繋がりによって生命の恒常性を維持するしくみを、分子・細胞・器官・個体のレベルで解明することを目指しています。



いのちのしくみを解き明かす
熱き心の生理学者たち

【日本生理学会 正式ロゴマーク】

カエルは、生理学の研究や教育に大きな役割を果たしてきました。ロゴマークのデザインは『鳥獣戯画』に登場するカエルに倣ったものです。

【生理学の日 7月10日】

1922年（大正11年）7月10日に日本生理学会第1回大会が東京大学医学部にて開催され、2022年に100年を迎えたことを記念するとともに、生理学研究をより広く知ってもらう機会とすることを目的として制定しました。



第1列 向って左より、石川日出鶴丸、酒井卓造、藤田敏彦、生沼曹六、木下東作、天谷千松、石原誠、高安慎一、佐武安太郎、
第2列目には、黒田源次、越智眞造、板垣政彦、浦本政三郎、牧亮吉、大塚藤吉、久保盛徳、正路倫之助、
第3列には、勝義孝、操担道、幸塚嘉一、西丸和義諸先生の姿が見える。

【未来に向けて】

日本生理学会は、生理学に関する学術の進歩発展をはかり、人類の健康増進の充実に寄与することを目的として活動しています。生理学の研究は、体の基本的な機能と仕組みを解き明かしていくことで、健康的な体づくり、疾患発症のメカニズムの解明、診断方法の開発、病態から正常機能を回復する治療方法の開発、疾病の予防法の開発に貢献しています。

【これまでの取り組み】

- ❖ 日本生理学会大会（1回/年）および地方会（7地方会、各1回/年）を開催

『創立100周年』を記念して第100回日本生理学会記念大会を開催

- ❖ 国際連携

国際生理科学連合（IUPS）およびアジア-オセアニア生理学会連合（FAOPS）と連携して活動

- ❖ 生理学の教育

- ・ 生理学教育者の育成および認定（生理学エデュケーター制度）
- ・ 生理学問題集を発行、医学生理学クイズ大会を後援

- ❖ 生理学の若手研究者および女性研究者の育成

- ❖ アウトリーチ活動

- ・ 市民公開講座の開催（大会及び地方会）
- ・ 日本生理学会大会における学部学生、高校生セッション等の開催
- ・ 出前講義
- ・ 日本生理学会ホームページ等から情報発信：サイエンストピックス など



公開シンポジウム 「100年後の人類は？」

2023年3月11日（土）
13:30～16:00
京都大学・時計台百周年記念ホール

【基本情報】

1. 名称 一般社団法人 日本生理学会
<http://physiology.jp/>
2. 沿革 1922年7月：創立
1922年：日本医学会加盟（第3分科会）
3. 会員 2,794 名（2022年11月現在）
4. 機関誌 The Journal of Physiological Sciences
日本生理学雑誌

